

明るく元気の出る町

平成7年11月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1995

11

NO. 488



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

わあー おいしそうなカレーうどん!

(10月17日・大琴小なべっこ遠足)

おしよ

昨年九月から工事が進められてきた黄桜温泉「湯楽里」とお食事処「やしお」がこのほど完成、十一月七日の竣工式、九日のオープンに向けて順調に作業が進められています。同施設は、延べ床面積が三、〇〇二・六三平方メートル、総事業費が十四億三千三百万円。内装に木をふんだんに使用し、落ち着いた雰囲気仕上げられています。

「湯楽里」の浴室には、ジェット風呂、泡

風呂、サウナ、水風呂などがあります。百十畳の大広間や三十畳の中広間、個室、カラオケのできる娛樂室など用途に応じてさまざまな利用ができるように整備されました。また、「やしお」には、和室、洋室の食事室があり、八十人の利用が可能です。町活性化の拠点と期待されている施設をスナップで紹介します。

黄桜温泉「湯楽里」 お食事処「やしお」 完成



▲一度に50人が利用できる大浴場。サウナ、泡風呂、水風呂などもあります

11月9日オープン



▲玄関から入ると広いホールがあり、のんびりくつろぐことができます



▲「湯楽里」の玄関。屋根が高くゆっくりした雰囲気

広いお風呂、ゆっくり使える大広間
和室、洋室で食事もしめます



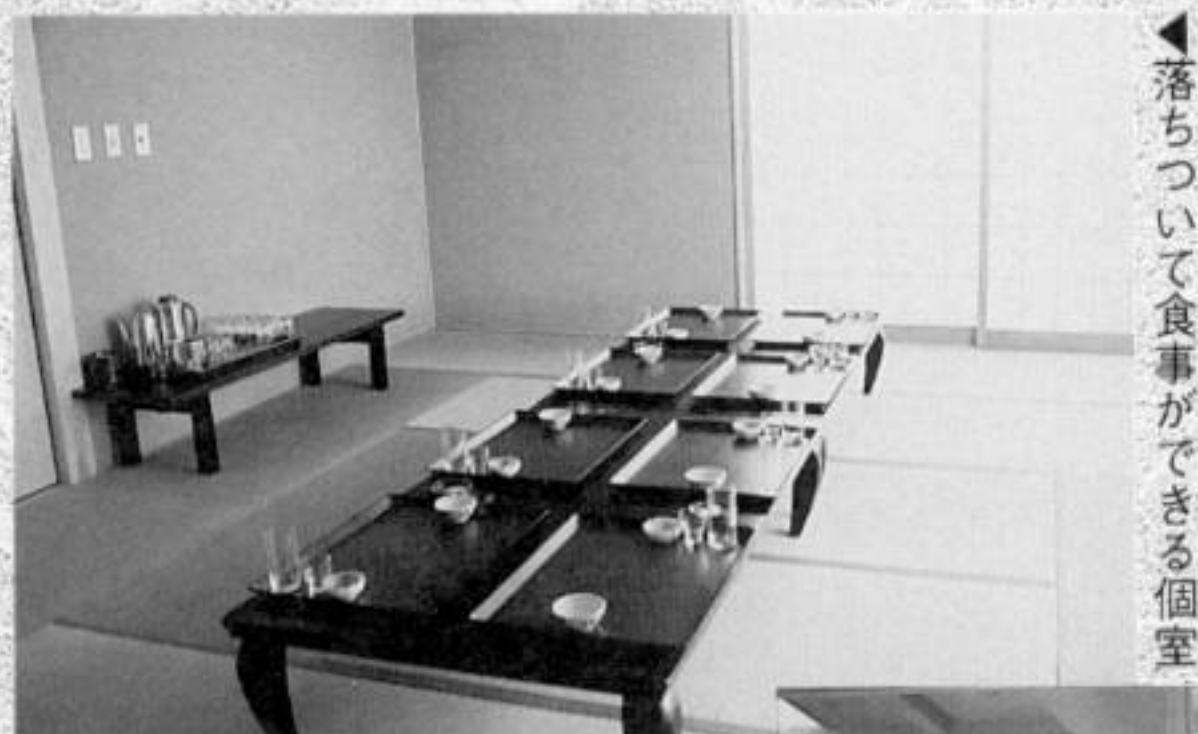
純和風の和室（写真上）と喫茶をイメージした洋室（写真左）の食事室



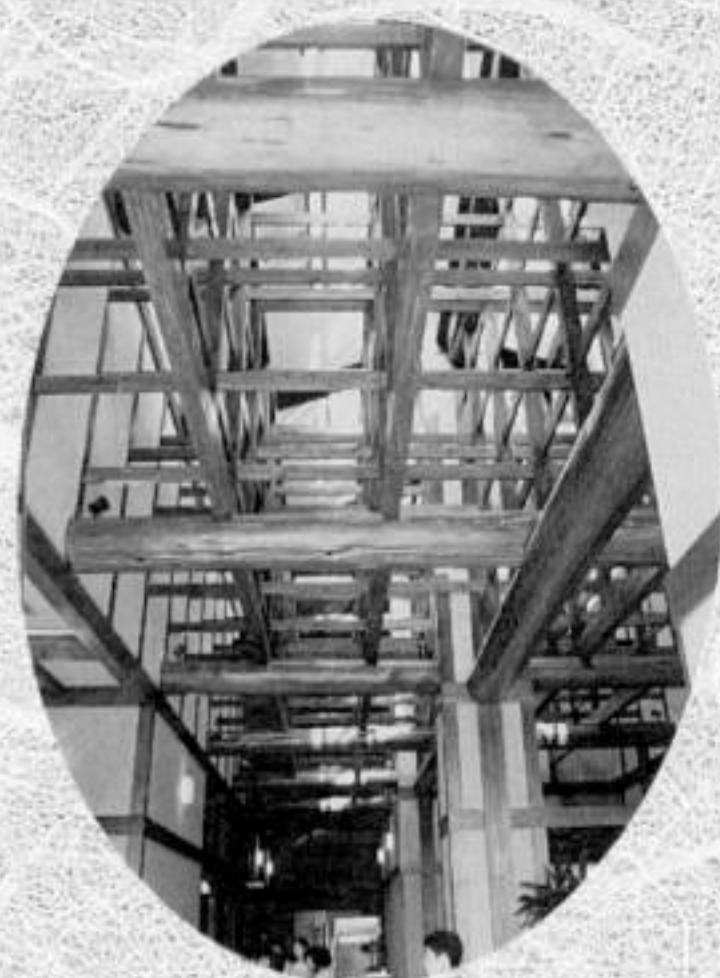
▲くつは下足箱へ。その鍵をフロントへ出すと入浴券がもらえます



▲30人規模で利用できる中広間



▲落ちついて食事ができる個室



▲やしおの天井は長屋をイメージした細工



▲120畳の大広間。ステージも完備されており芸能発表などもできます

県立大学誘致のため
本荘由利圏民挙げて運動を！



開設された広域由利家畜市場。上場頭数増で価格の平準化・適正化がみられた
(写真提供・秋田魁新報社)

10月子牛市場

平均 372,489円

適正価格ねらい
由利と湯沢が統合

J A あきた経済連湯沢家畜市場(湯沢市)と由利畜産農業協同組合連合会由利家畜市場(本荘市)の統合集約による「J A あきた経済連広域由利家畜市場」が十月九日、誕生しました。

同市場の統合は、子牛価格の低迷と繁殖農家の生産頭数、市場上場頭数の減少が背景にあり、市場運営の合理化と適正価格の形成、産地の生産基盤強化などをかかげている県経済連「市場一本化の構想」の第一歩でもあります。

育種組合を有する由利地域と肥育事業の盛んな雄勝、平

鹿地区が融合することにより、子牛の改良に有効な育種情報、繁殖雌牛の改良など、数多くの相乗効果が期待されています。本荘・由利と横手・湯沢・平鹿・雄勝の三市三郡からの上場となる「広域由利家畜市場」は、県内和牛生産子牛の六二・一％を占め、県内最大の市場となります。

本町からは五四頭が上場され、五〇頭が成立。平均価格は、三七二、四八九円で、去勢牛は四一三、七五一円と、四〇万円台を確保、雌牛は、三一〇、五九七円でした。市場全体では、二六四頭の取引が成立し、平均価格は、三七八、〇八四円となっています。平均価格について同市場では「九月の高値の反動で今月は若干下がるのが予想されたが、ほぼ横ばい。集約による上場頭数増で価格の平準化、適正化が見られた」と話しています。

郡市学校図書館 教育研究大会

第四十三回本荘市由利郡学校図書館教育研究大会が九月二十七日、高瀬小学校で開かれ郡市内の小中学校から百人余りの先生が出席しました。同大会は、子供たちの読書力の向上と学校図書館の充実を図ろうと行われているものです。

別かれ、活発な意見交換が行われました。「読書力を高めるには」をテーマにした第一分科会では、低学年の授業を中心に議論が進め



▲100人余りが参加した研究大会

られました。中でも国語の授業内容に関わりのある本を教師が紹介し、読んであげるブックトークの良さに意見が集中し、参加者は興味深そうにメモを執っていました。また、第二分科会では「確かな情報活

「絵本の原点は創造力」

高橋宏幸先生が高瀬小で講演



▲講演する高橋先生

用能力を育てるには」をテーマに、これまでの「読書をすすめる場としての図書館」から調べ学習やコンピュータを取り入れた情報センターとしての図書館の在り方が話し合われました。

その後、高橋宏幸先生が「読書とは何だろう。―実作者の立場から―」と題して講演。この中で高橋先生は「読書は子供の主体性を育てるうえで一番効果的なもの。特に低学年には絵本の効果が大きい。絵本を読んでいるときは創造(想像)力、思考力が働いて、次のページをめくるときに、次のページをめぐるときに感動のはじまり。生きる力を与えてくれるスペースとも言える。この効果を最大限に利用した教育を目指してほしい」と出席者を激励しました。

町長

町長 阿部 幸悦

日記

文化財から学ぶもの

昔から大切にして来て、これから大事にし、次の世代にも伝えて行かなければならないものがあります。先祖先輩が大事にしてきたものを良く知ることにより、先人たちの当時の「熱い思い」を知ることができ、その時代時代の苦勞を忍ぶことができます。そしてそこから今を生きる私たちが、明日に向かって頑張れる糧が生まれるのではないかと思います。そういう大事だと思われるものを町

の文化財として指定させてもらい、より多くの皆さんにこれを知ってもらおうと、平成四年に東由利町文化財保護条例を制定しました。

十人の皆さんに文化財保護審議会委員になっていただき、これまで三点の指定がありました。今年度は天然記念物として名木三点の指定があり、いずれも見事なものであります。これからぜひ大切にしていきたいものです。

文化財にはいろいろな分類がありますが、そのうちの一つに埋蔵文化財があります。縄文時代の土器片が出土するところな

どですが、この取り扱いがなかなか大変なものであります。道路などで現状を変える場合、それを丁寧に発掘した後、資料として残し記録・報告する義務が生じます。大変な作業であります。町の道路改良などがまた埋蔵文化財に当たった場合はそれを全部町の予算と責任でやらなければならなりません。町にはそういうことに詳しくない資格を持った人材もまだおりません。高瀬小学校の通路路整備の際に、その内のひとつである宮の前遺跡に当たりましたが、大変な作業になりました。発掘も大変な作業でありましたし出

土した土器片の整理に時間がかかりました。県の文化課の先生にも大変難儀をかけましたが、文化財の保護とはこんなに難儀なものかとつくづく考えさせられたものです。こんなにしてまで大事にして行かなければならぬ意気込みは十分わかりましたが、意気込みだけではなかなか十分な保護ができないことも知らされたものであります。

文化財の保護は、大変難儀な一面もありますが、それだけに貴重なものでもあります。多くのものを町の文化財として指定させていただき、皆で大事に行きたいものであります。

町指定文化財

「名木」3点を追加

町文化財保護審議会（畑山昭一会長）では、町文化財保護条例に基づく町指定天然記念物に「名木」三点を指定するよう町教育委員会に答申、十月二十三日の教育委員会で答申どおり決定されました。

町では平成四年、重要な有形、無形、民俗の文化財や史跡、名勝、天然記念物を保存するため、町文化財保護条例を制定しました。

平成五年には、薬師瑠璃光如来像など三点を町の文化財に指定しており、今年度分をあわせて六点が指定されたこととなります。

祝沢のみずならとさるなし

祝沢のみずならは、樹齢推定二百年以上、樹高十二メートル、目通り周囲二・九メートルの木で、古木として十分な価値があります。みずならの木を巻くように生えているさるなしは、県内一の大きさと言われています。



大台のおんこ（キャラボク）

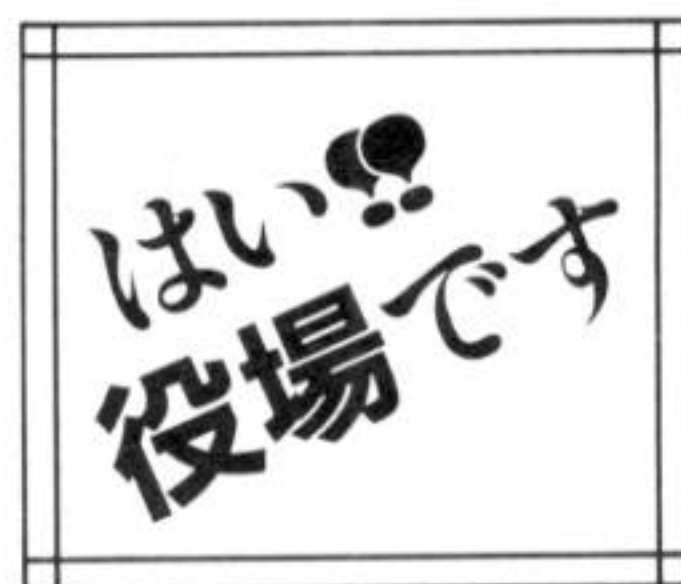
大台のおんこ（キャラボク）は、山の神として祭られているもので、樹齢推定五百年以上、樹高六メートル、目通り周囲一・四メートルの木です。この種の樹種としては、県内に並ぶものがない屈指の巨木と言われている。



中ノ沢の山椒（犬山椒）

中ノ沢の山椒（犬山椒）は、雑木林に植生しており、樹齢推定二百年以上、樹高十二メートル、目通り周囲二・四メートルの木です。この種の樹種としては、県内に並ぶものがない一級の大木と言われている。





町内初

町のエコーはがき完成

老方局では記念スタンプ

町が作成を進めていたエコーはがきが十一月一日に完成。老方郵便局では、黄桜温泉「湯楽里」オープンを記念してスタンプで郵便物を消印、希望者には有料で押印のサービスを行います。

いずれも町内初ということもあり、町内外から注目を集めています。

一
き
コ
が
エ
コ
ー

5万枚作成

エコーはがきは、自治体や業者の広告が掲載されたはがきで、PR用として全国各地で発売されています。官製はがきより安く購入することができ、おみやげなどに使われるケースもあります。本町のエコーはがきには、八塩い



新車「たかせ号」登場

高瀬小スクールバス更新



▲新しくなった「たかせ号」

高瀬小のスクールバス「たかせ」号が新しくなり、十月六日から運行を始まりました。

新しいスクールバスは、四十二人乗りで、いすを子供用に改造したもの。旧法内小学校区三十二人の子供たちが通学に利用しています。

町では、スクールバスの老朽化に伴い、年次計画で各小学校ごとに更新。「たかせ」号の配備により、全部が更新されたことになります。

こいの森に咲く黄桜と黄桜温泉「湯楽里」がカラーで印刷されており、価格は一枚四十五円。町では観光PRに利用してもらおうと五万枚作成しました。

十一月一日からは、老方郵便局はもとより、主に本荘市由利郡内の郵便局で発売されます。

念
ブ
ス
タ
ン
プ

押印サービスも

一方、老方郵便局が作成した記念スタンプは、十一月九日から十三日まで利用され、老方郵便局で取り扱う郵便物の消印に使われるほか、希望者には有料（五十円以上の切

手）の購入で、黄桜温泉「湯楽里」の全景と町イメーヂキャラクター「モウ太くん」が刻まれています。

スタンプには、黄桜温泉「湯楽里」の全景と町イメーヂキャラクター「モウ太くん」が刻まれています。

老方郵便局の長谷山博昭局長は「記念スタンプを作ると全国のマニアから三千枚ほどの押印要請があると言われており、これだけでもPR効果は大きい。来年は、風景入りスタンプも検討したい」と話しています。



メニュー決定

お食事処「やしお」

定食・丼類を中心に50種類

黄桜温泉

湯楽里



株式会社
黄桜の里

お食事処
やしお

黄桜温泉「湯楽里」とお食

事処「やしお」は、十一月九日のオープンに向けて、今が追い込みの時期。社員全員で施設内の整理に追われています。

お食事処「やしお」では、食事や宴会のメニュー約五十種類が決まりました。メニューには、フライドポテトやジュー

調理長として料理部門を総括する柴田正広さんは、秋田市内の料亭やホテルで十八年間日本料理一筋。

「洋食は香、中華料理は味、日本料理は目で楽しむ料理と言われている。日本人が昔から食べて

いる日本料理は、味付けの土台はそう簡単には変わらないので、さらに魅力的なものにするために難しいがやり甲斐ある分野」と話す柴

温かいものは、温かいうちに：

調理長・柴田正広さんにスポット

田さん。十八年間の勤務の中で「季節の食材を使った旬の味」を料理のポイントに位置づけ、取り組んできました。

「やしお」のメニューは、

柴田さんが中心となりスタッフで議論して決めたもの。一つひとつに料理人としての意気込みが感じられます。「お客さんが何を望み、何を期待

しているかを念頭に議論した。例えば「やしお定食」や「縄文定食」など独自メニューの提案もあったが、まずは軌道に乗ってから。入れ替えや検



「仕事から平日の休みが多い。人ごみをさけて、のんびり釣りをしているときが最高の気分」と話す柴田さんです。

調子を整えています。趣味は、釣り。



▲だまこ餅



▲和風シューマイ

ス類などのファーストフード類も含まれており、中心となるレストランメニューでは、丼類が四種類、定食が五種類、めん類が八種類。カラオケルームにも対応できるようおつまみ類もあります。フランス鴨を使った二種類のラーメンや

由利牛、山菜など地元の食材を使った料理が大きな特徴となっています。値段は、由利牛のステーキセットと刺身定食以外は全部千円以下。宴会は、三千円から五千円までのコースが選べるようになっていきます。

また、七月九日に行われた家庭料理コンテストの入賞作品のうち、だまこ餅と和風シューマイがさらに手を加えられておつまみメニューに、アカシヤとセロリの佃煮は、めん類や宴会料理に出されることになっています。

株式会社黄桜の里では「レストランはもちろん、宴会メニューにも徐々に独自性を出して行きたい。土、日曜日は予約が入っているが、平日は余裕がある。また、四、五日の開放日のうち、四日には大正琴の実演も予定されており、多くの方に利用してほしい」と話しています。

東中生が八塩登山

自然のすばらしさ体験

東由利中の全校生徒二百四十三人が九月二十五日、八塩登山を体験しました。

同中では、地域素材を活用したふるさと教育の一環として、学校菜園活動や職場訪問などを実施しています。今年度は、本町が環境教育の指定を受けたことから、自然の素晴らしさを体験しふるさとを知ろうと行われたものです。

当日は、一、二年生が比較的ゆるやかな風ピラから、三年生が最も急な鳥居長根から登山。写生、写真撮影、植物の鑑賞など一人ひとりが課題を持って山を登り、登山道周辺の山野草やキノコなどに目を向ける生徒も見られました。登山の研究成果は、十月二十日の東中祭で発表されました。



▲山頂で思い思いに過ごす生徒たち

犬の優良飼い主を表彰

15年間愛犬を飼育

秋田県動物愛護フェスティバル実行委員会（委員長・簾内絢一県生活環境部長）の長寿動物飼い主表彰制度に、本町から畠山精悦さん（大吹川）と畠山友一さん（横小路）が選ばれました。

同制度は、同一の犬や猫を十五年以上飼育し、正しい動物愛護思想を持っている人を表彰しようとする毎年行われているもので、本町から表彰された二人は、同一の犬を十五年間飼育し



▲畠山精悦さん宅の「チッコロ」



▲畠山友一さん宅の「コロ」

ました。畠山精悦さんの犬は、雑種の雌で名前はチッコロ、畠山友一さんの犬は、雑種の雄で名前はコロです。表彰式は、九月二十三日の動物愛護フェスティバル（会場・秋田市）で行われました。

石渡さん 高橋さん に表彰状

生涯学習一筋が評価



▲石渡力造さん



▲高橋ヒデ子さん

県生涯学習奨励員協議会二十周年記念式典が十月十三日、秋田市の県児童会館で行われ、石渡力造さん（蔵新田）が県生涯学習推進本部長から、高橋ヒデ子さん（横渡）が県生涯学習奨励員協議会長から表彰されました。町では、自主サークルの育成や支援、援助を行おうと生涯学習奨励員に十人を委嘱、協議会を組織して、町の生涯学習活動を支援しています。石渡さんは、町の協議会長を務めるほか、県の理事を長年務めるなど、生涯学習一筋の活動が高く評価されました。また、高橋さんは、平成三年度から奨励員を務め、町の協議会副会長として指導、援助に尽力されています。

2000人でにぎわう

東光苑文化祭

「輝く時代（とき）」の中で、今いきいきと」をテーマに東光苑文化祭が十月二十二日、



▲約200人が訪れた文化祭

同苑といちよう館で行われ、約二百人の参観者でにぎわいました。今年で十回目を数える文化祭は、午前十時の開会行事に続き、午後一時からは演芸会が行われ、八塩芸能倶楽部や東光苑職員、苑入居者などの歌や踊りが発表されました。東光苑の通路やホールには、入居者の作品や年間行事の写真、介護用品の展示などが行われたほか、食堂や福引コーナーが準備され、子供たちなどどでにぎわっていました。



八塩小健闘、3位に入賞 郡市小学校野球大会

② 東由利町立八塩小学校



▲健闘した八塩ナイン

第十五回本荘市由利郡小学校クラブ野球大会（新人戦）が九月十五日から郡市内の野球場で行われ、八塩小学校が三位に入賞しました。

同大会には、町内の三小学校をはじめ、郡市内から千九チームが出場しました。八塩小は、初戦の西滝沢小戦で七回二

死から一挙六点をあげ、八対七の逆転で勝ち上がり、石沢小を十一対四、西目小を十三対三で下し、準決勝に駒を進めました。準決勝では強豪子吉小と対戦し、熱戦を展開。三対十六で敗れたものの三位入賞を果たしたものです。

同小監督の佐貫要先生は「今年の八塩小は、一本ほしいチャンスにヒットが出る打撃のチーム。期待どおりに頑張ってくれた。来年まで基礎

的なことを練習し、夏の大会では、決勝戦まで進めるチームにしたい」と話しています。

また、主将の嶽石弘基君は「今大会はみんな絶好調だった。来年は、優勝できるように頑張りたい」と意欲を見せています。

なお、高瀬小はベスト8に進出したものの、優勝した平沢小に準々決勝で惜敗しました。

スポーツ祭



▲完成したスポーツ祭大会旗
上部に緑色で「スポーツ祭」と書かれ、中央には「モウ太くん」、下部には月桂樹の葉をあしらった模様と黄色いリボンが描かれています。

町教育委員会は「当初

町スポーツ祭の一つ、グラウンドゴルフとラージボール卓球が十月二十二日に行われ、九自治会から十二チームが参加、熱戦が展開されました。

当日の試合結果と個人賞入賞者、スポーツ祭上位自治会は次のとおり。（敬称略）

《グラウンドゴルフ》①新町②蔵③下通「ホールインワン



▲熱戦が展開されたグラウンドゴルフ

第十一回全国選抜ゲートボール大会男子の部秋田県予選大会が十月十四日、秋田市の勝平市民グラウンドで行われ、本町選抜チームが優勝、全国大会への出場権を獲得しました。



▲県大会優勝に輝いた町選抜チーム

スポーツ祭大会旗完成

モウ太くんを中央に

町教育委員会では、年四回開催されている町スポーツ祭大会旗を製作、十月二十二日に行われたラージボール卓球とグラウンドゴルフ競技で披露しました。

完成した大会旗は、白地で上部に緑色で「スポーツ祭」と書かれ、中央には「モウ太

はトラック&フィールドで公開する予定だったが、中止になったため二十二日のお披露目となった。スポーツ祭では、躍動感あふれるモウ太くんのようにさわやかな汗を流してほしい」と話しています。

新町自治会がトップに

町スポーツ祭

賞」▼嶽石篤（五海保）▼小松正武（高戸屋）▼小松功（同）▼長沼利文（新町）▼佐藤安一（下通）《ラージボール卓球》①大琴②蔵新田③新町「最優秀選手賞」▼佐々木悦夫（大琴）

《スポーツ祭上位自治会》①新町②下通③蔵新田④大琴⑤蔵⑥袖山

町選抜ゲートボールチーム 全国へ

全県ミドルクラスを制覇

同大会は、六十歳以上のシニアクラスと六十歳未満のミドルクラスに別れて行われ、町選抜チームは、ミドルクラスに出場。比内町選抜、秋田市選抜、大内町選抜と対戦し、二勝一分けの成績で優勝したものです。

監督を務めた石綿民喜さんは「出場者七人が一致団結した成果。全国大会では、秋田県の代表に恥じないようなプレーをしたい」と意欲を見せています。

全国大会は、来年六月上旬、長野県松本市で行われます。

HIGASHIYURI
東由利の話題
TOPICS

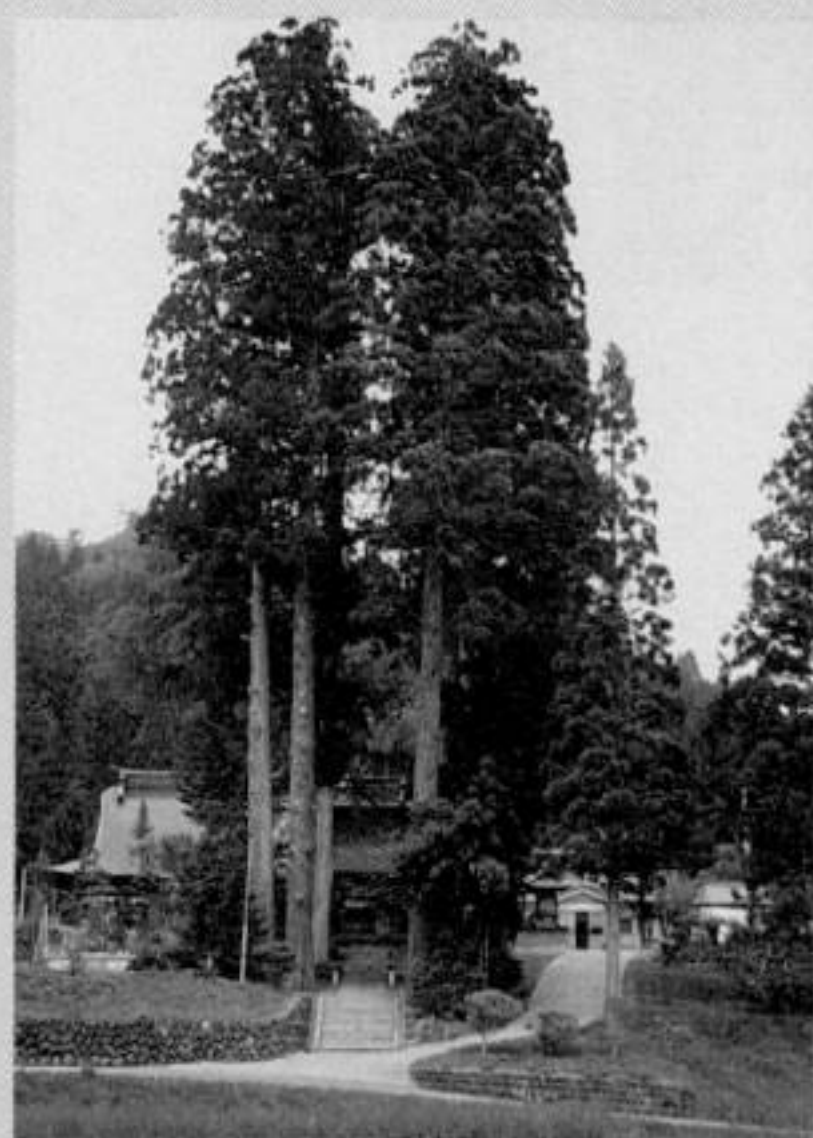
町の宝もの

43

林澤寺の杉並木

写真の杉並木は、田代の林澤寺山門前に植えられているもので、八塩いこの森などを訪れる際、人々の目を和ませてくれます。

かつての石組み参道の両側に五本ずつ植えられている杉は、目通りの周囲が一番太いもので二・七メートル、細いものでも一・九メートル、樹高は三十メートル近くあります。寺の歩みの記録に「現在地に元禄八年（一六九五）本堂再興」とあるので、本堂建築時に入母



（文・畑山昭二）

屋風の山門や参道の整備、杉の植栽等を行ったと考えられることから、推定樹齢は約三百年。神社や寺の境内の巨木が、戦中、戦後に乱伐されていたことから、この杉は貴重なものと言えます。

杉の和名は、「直木（すき）」または「すすく立つ木」の意からと言われている。

業り 林だ 特用林産物の生産動向

秋田県の生産動向をみると、乾しいたけ、外国産の輸入増加によって市況が低迷し、生産量が横ばいです。なめこ、えのきたけ、ひらたけは県外産地との競合から価格が下落し、生産意欲の減少等から生産量が減少傾向にあり、ぶなしめじ、まいたけは施設栽培の定着により増産になっています。くりは栽培面積に変化がなく、生産量は横ばいで価格は安値です。桐は優

良林の減少等から生産材が数年前の半分となり、価格は外材の輸入増加により安値になっています。木炭は生産者の高齢化に伴って作業効率が悪く、生産量は年々減少しています。

特用林産物をとりまく情勢は、安価な外国産の輸入増加や生産者の減少、生産意欲の減退など諸問題が生じています。これまで特用林産物は、農山村地域の重要な産業として位置づけられてきていますので、これを崩すことなく新たな生産・流通の展開が必要です。（町林業懇話会長・佐藤 恒悦）

「噛む」ことを

見直してみませんか？

車の普及で、歩く力が弱って来ていることは自覚できますが、案外意識できないのが「噛む」力です。

先日、八塩小五、六年生を対象にしたブラッシング指導で噛む実験をしました。実験は、かまぼこを十回噛んだ場合と三十回噛んだ場合とを比較するのです。その結果、前歯、奥歯を上手に使って十回でもよく噛めている子、三十回噛んでも虫歯があつてよく噛めない子、日頃意識していないため噛み方のよく知

らない子がおりました。さて、お宅のお子さんはいかがですか。

「噛む」事は、健康づくりの第一歩とよくいわれますが、毎日の食事を振り返ってみるとどうでしょうか。

親子共々時間におわれ、慌ただしく食事をすませている状態です。このような生活では、食物を味わうことも、よく噛む暇がありません。

子供の健康を考えるとせめて、自宅では「遅れるから早く食べなさい」ではなく、「よく噛んで食べなさい」の声かけに変えて行けるよう毎日の生活を見直したいものだと思います。

（保健婦・高橋 鈴子）

虫歯なんてないもん。
3歳児健診より

虫歯が多いのは
前歯と奥歯

の
歯 けんこう

今回の三歳児健診では、十人が健診を受け、虫歯のない子は四人でした。昨年度の健診状況によると、三歳児の虫歯の無い子の割合は三五％。しかし、昭和六十年代には、一〇％程度だったことを考えると虫歯予防の指導が徐々に効果を見せていると言えます。

町福祉課では、「三歳児の虫歯は、前歯と奥歯に多い。一層のはみがき徹底を」と話しています。



▲柴田健弘くん
（新町・健治さん二男）



▲小松優里香ちゃん
（宮ノ前・明さん長女）



▲山田菜津美ちゃん
（黒淵・等さん長女）



▲高橋孝聖くん
（新町・孝紀さん長男）

実りの秋、満喫

9月下旬から10月にかけては、農作物の収穫が最盛期。町内の小学校では、学校農園の水稻やさつまいもの収穫に子供たちが歓声をあげながら取り組んでいました。また、みどり保育園年長組の子供たちは、町実験農場でさつまいも掘りに挑戦。なれない手つきで芋を掘り出し、大きさを比べ合うなど楽しいひとときを過ごしました。「実りの秋」を満喫した子供たちをスナップで紹介。



▲「これは重いね！」2人ががりでいも運び
(写真・大琴小)



▲「ヨイショッと」稲を刈るのも一苦労 (写真・八塩小)



▲「このおいも、私の顔より大きいヨ」 (写真・高瀬小)

「結びがだ、わかったが？」「ながながもすがしな！」「なれない手つきでがんばりました」
(写真・八塩小)



▲はさがけはむずかしいな～
(写真・大琴小)



▲あっという間にこんなにとれました
(写真・大琴小)



▲「大きなおいもみつけた」
(写真・みどり保育園)



▲「ジャージー牛乳おかわり」
いもと牛乳はピッタリだ
(写真・みどり保育園)



▲刈った稲はハサまで運びます。「重いけどがんばるゾ」 (写真・高瀬小)

いきいき、クローズアップ



わが家の
アイドル☆

大琴・佐々木穂乃香ちゃん
(H6・9・17生まれ)
お父さん 直さん
お母さん 美香子さん

「歌や踊りが大好きで、天気の良い日は外に出るのが好きな活発な子。やさしい女の子になってほしい」とお母さんの美香子さん。

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 9月定例議会で可決された入湯税条例。税額は一人一日いくら?

①150円 ②170円 ③200円

(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出してください。▼宛先／東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切／11月15日(当日消印有効)▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は③厚生大臣でした。応募していただいた5人が全員正解でしたので写真盾をプレゼントします。▽佐々木賢さん(大琴)▽伊賀和子さん(浜松市)▽渡辺久一さん(下小路)▽鈴木和子さん(宿)▽小笠原慶蔵さん(横渡)。応募ありがとうございました。



遠藤弘幸さん
(桂台・20歳)

秋田ルビコン(株)勤務
血液型・B型

高校卒業と同時に東京デイズニールランドでおなじみの千葉県浦安市の会社に就職した弘幸さん。去年の八月にUターンして秋田ルビコン株式会社に勤務しました。

「都会へのあこがれから県外に就職したが、やっぱり地元の方が良かった。何と言っても落ち着くわが家が一番」と話す彼。三歳年上の兄、勝弘さんと

同じ会社で働きながら、農作業の忙しい時は貴重な労働力となっています。

同社第二工場では、十月から機械を止めないようにするため連続操業が行われています。四日働いて一日休む勤務体系のため、休みが友達と合わないのがちよっぴり不満の弘幸さん。貴重な休みの日には、ドライブや音楽鑑賞などを楽しんでいきます。

「二男ということもあり、ずっとこの町に居るかはわからない」と複雑な胸のうちを明かしながらも「東由利の魅力は、緑っぱいの自然。都会から帰って来て改めて感じた」と話す弘幸さん。自分を「控えめな性格」と分析する彼の理想の女性は「優しい人」だそうです。次は、同級生の高橋栄樹くん、君にリレーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会(十月句会)

大河の土手に住む秋暮れ拒む刈り倒す稲を雷雨が渡りゆく山影を沈めて深し秋の湖十六夜の月引き寄せる神の杉月夜茸水の生まれる国境ゴム長の校長稲刈る学校田稲架がけに月も一役かいにけり母の背の温みつたわる秋裕群雀抱きて芒の暮れにけり

小松 女沙(下小路)
小笠原トミ(蔵新田)
小松順之助(中通)
小野 貞子(蔵新田)
小松 正昭(家ノ下)
佐藤 正義(湯出野)
磯石 レイ(五海保)
阿部 澄子(蔵)
小松 忠正(下通)

回覧を届け来し子へ月の豆
峡田の山かけ早し秋の暮れ
大地刺す岩や礼文の鯛雲
赤トンボとまりたき石ひとつ貸す
蘆の穂をわけてクルーの漕ぎ出でぬ
雑魚を釣る孫を目で追い稲架を組む
山道を通れば通草色づきて
野辺送り無風の肩に桐一葉
うまい米こだわり続け秋を刈る
粃穀の芯に火があり夕鴉
湯の町となりてふる里柿の秋
杖に寄り廊下に眺む紅葉山

高橋民治郎(袖山)
菊地 常作(湯出野)
嵯峨 義之(中通)
遠藤トミ子(小倉)
大庭喜右エ門(舟木)
工藤 武雄(山崎)
小松 徳蔵(湯出野)
小野石路子(上里)
小笠原亮子(蔵新田)
阿部 俊子(横渡)
高橋ヒデ子(横渡)
小松慶治郎(高戸屋)

みどり保育園

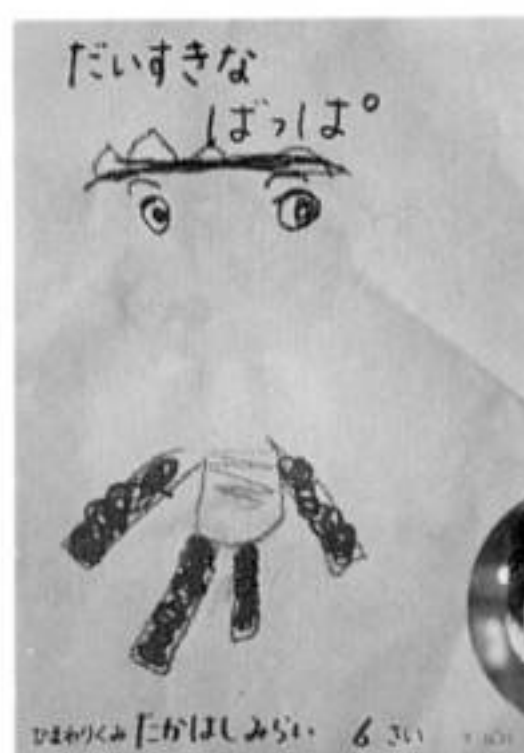


さとうめぐみちゃん
(館合新田)



だけいしなつきちゃん
(山崎)

ぼくの絵 わたしの絵



たかはしみらいくん
(五海保)



さとうだいちゃん
(葎沢)

やま 塩 かわ 瀬 人と自然に学ぶ

大琴小

水源地の探検や 川の水質調査



▲水源を探検



▲川の水質調査



▲花いっぱい校庭

大琴小では、「体験活動や奉仕活動を通じた子供の育成」を柱に、水との関係を重視した環境教育に取り組んでいます。大琴小学区には、大琴、大袖、東田利の三つの簡易水道があり、同小は、舟木の男清水、女清水を水源とする大琴簡易水道を利用しています。水不足の昨年は、プールの水を使うために地元との協議を行ったりするなど、水で苦労している一面があります。このため、「水の大切さと環境に与える影響」を学ぼうとテ-

マを設定したものです。十月二日には、四年生以上の子供たちが簡易水道の水源地と穴沢の配水池を探検。さらに五年生はアクト橋付近で、水生生物を採取する調査を実施し、川の水質調査を行っています。小園貞雄校長は「大琴小では、地元の理解と協力を得ながら水を利用しているのが実態。子供たちとの学習を通して、地元の方々にも水への関心をもってもらい、地域全体で環境問題に取り組んで行ければ」と話しています。

ハイスクール○日記

ナベッコ遠足



下郷分校1年
畑山 利享くん

去る九月二十七日、八塩いこいの森でナベッコ遠足を行いました。例

年、同じ場所で行われるナベッコ遠足だということですが、班

ごとに調理をするだけではなく、環境整備も兼ねていて、ダム周

辺のゴミ拾いを行うことも目的の一つでした。

学校から旧住吉小学校までは自転車、そこからは徒歩で八塩いこいの森に向かいました。歩いてみると今まで見逃していたものがいろいろと見えてきて、ふるさとの何でもない景色をあらためて美しいと思いました。

八塩いこいの森に着くと早速調理にとりかかりました。みんなでわいわい言いながら調理をし、青空の下でできたあがった料理を食べるのは格別でした。

そして、後かたづけをした後友人と三人でダム周辺のゴミ拾いにとりかかりました。シーズンも過ぎていたのでゴミはそれほど多くはありませんでしたが、道端や側溝、道から少し離れた草むらなどに空き缶やたばこの吸い殻などがいくつも落ちていました。ゴミ拾いをして、環境を守るために、今自分は何ができるのか、何をしなければなら

ないのか考えさせられました。

11月→データ東由利

(9/1~9/31)

人口 () は前月比

■男	2,683人 (△2)
■女	2,815人 (1)
■計	5,498人 (△1)
■世帯数	1,410戸 (1)

() は1月からの累計

・出生	4人(27)	・死亡	10人(49)
・転入	8人(74)	・転出	3人(81)

■火災出動	0件(1)
■救急出動	15件(89)
■交通事故	3件(19)
・死亡	1人(2)
・傷者	2人(12)
■飲酒運転	0人(1)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 11月の行事

- 2歳児健診 (13:00 有鄰館)
- 機能訓練教室 (13:00 有鄰館)
- 3~5 町産業文化祭
- 7 黄桜の里竣工式 (現地式典・10:00 竣工祝賀式12:00 健康増進センター)
- 9 黄桜温泉「湯楽里」オープン
- 10 一人暮らし老人の防火診断
- 17 ことぶき大学 (10:00 朋楽荘)
- 19 在宅介護人の研修会 (10:00 黄桜温泉「湯楽里」)
- 21 一人暮らし老人研修会 (10:00 黄桜温泉「湯楽里」)
- 27 健康大学 (13:30 有鄰館)
- 29 機能訓練教室 (13:00 有鄰館)

東由利

郷土の野草

No. 129



ツルニンジン

(キキョウ科)

文・写真 小松忠正

北海道から九州までの林中や山裾に自生する多年草で、太い根から細い蔓性の茎を伸ばし、左右どちらにも他の植物に巻きついて伸びます。蔓には通常三〜四枚の長楕円形の葉を互生につけます。八月頃ホオズキのような形の緑白色の蕾がつき、九月ごろ写真のような花が下向きに開きます。花冠は五裂して、内側に紫褐色の斑点があり、茎や葉を切ると白い乳液が出ます。肥大した根を夏に掘って乾燥させ、煎じて飲用すると去痰作用があるといわれています。

戸籍の窓口

(8/21~9/20) 届出

●お誕生おめでとう

2/4 佐藤 悠作くん (和理) 蔵

1/3 鎌田 敏輝くん (育子) 黒淵

●ご結婚おめでとう

2/22 遠藤 賢志さん (新) 処
渡邊 祥子さん (本) 莊市

●ごめい福をお祈りいたします

2/26 小松 サヨさん (85) 繁・母 松柴

9/30 小野 寅松さん (69) ミ・サ・夫 祝 沢

10/15 小松 キヌさん (80) アツ子・母 山崎

10/15 佐々木喜一さん (61) ヒテ子・夫 大琴

カラー スナップ

はさがけ



本町秋の風物詩「はさがけ」。畜産の町ならではの風景ですね。

(撮影、広報担当)

まごころ

町社会福祉協議会に、佐藤ミネ子さん(寺田)、高橋繁太郎さん(横渡)、長谷山宗市さん(時雨山)、佐藤邦雄さん(下小屋)、秋田ヤクルト販売株式会社(秋田市)、石渡タセさん(蔵新田)からご芳志が届けられました。ありがとうございます。

ほっといきいひといき

突然ですが、いくら映像の時代と言っても写真はいいものです。一枚の写真を見ていると、写っている人々の表情や回りの風景など、見れば見るほど味があるもの。出来事が過ぎて行くビデオの映像とは一味違った良さがあります。それが古ければ古いほど写真の魅力に吸い込まれて行きます。

そんなある日、広報の倉庫で、増え続ける写真を見ながら「写真を整理して、いらぬものは思い切って捨てよう」と取り掛かったものの、歴代担当者の写真を一枚一枚見て行くうちに時間だけが過ぎて、ほとんど捨てられないものはなし。「やっぱり写真はいいものだ」と改めて感じました。